

2019年11月13日

各位

〒170-8451 東京都豊島区南大塚 3-33-1  
**山洋電気株式会社**  
マーケティング部 部長 加藤 晃  
TEL (03) 5927 1434 (直通)

## リチウムイオン電池搭載 常時インバータ給電方式 UPS 「SANUPS A11K-Li」 出力容量 1.5 kVA, 3 kVA を発売

山洋電気株式会社(社長 山本茂生, 資本金 99 億円)は, リチウムイオン電池を搭載した常時インバータ給電方式 UPS「SANUPS A11K-Li」の 19 分バックアップモデルを開発, 発売しました。出力容量は 1.5 kVA と 3 kVA をラインアップ。シャットダウンに時間がかかる仮想化基盤<sup>※1</sup>や, データセンタの電源バックアップに最適です。

### 【特長】

#### 1. 業界トップの幅広い使用温度範囲

使用温度範囲は-20~+55℃を達成。業界トップ<sup>※2</sup>の性能です。  
極寒, 酷暑の地域でも安心して使用できます。

#### 2. 省スペース

高さ寸法は, 1.5 kVA が 2U(86mm), 3 kVA が 4U(175mm)です。  
鉛蓄電池搭載の UPS と比べ小型なので, ラック搭載時の占有スペースを削減できます。

#### 3. 長寿命

リチウムイオン電池を採用。鉛蓄電池を搭載した当社従来品<sup>※3</sup>と比べて,  
バッテリーの期待寿命が約 2 倍となりました。  
バッテリー交換が 10 年間不要<sup>※4</sup>となり, メンテナンスの手間と費用が削減できます。

※1 仮想化基盤: サーバ機器 1 式で仮想化した複数の OS を動かす仕組み。サーバの費用を削減できます。

サーバやストレージなどの機能を統合し一元管理する HCI(Hyper-Converged Infrastructure)も含まれます。

※2 2019 年 11 月 13 日現在。無停電電源装置で同等の給電方式, 電圧, 容量, バックアップ時間の場合。当社調べ。

※3 当社従来品型名: A11K(鉛蓄電池タイプ)。

※4 周囲温度 30℃, 停電 10 回/年の場合。

## 【仕様】

定格出力容量	1.5 kVA	3 kVA
運転方式	常時インバータ給電方式	
効率(AC-AC)	91%	
交流入出力	定格周波数	50 Hz/60 Hz (自動判別)
	相数・線数	単相 2 線
	定格電圧	100 V / 110 V / 120 V
負荷力率	0.8 (遅れ)	
バックアップ時間*	19 分	
使用環境	周囲温度: -20~+55℃, 相対湿度: 10~90%(結露なきこと)	

※周囲温度 25℃, 初期値, 負荷力率 0.8 の場合。

## 【用途】

仮想化基盤(HCI, 仮想化システム), データセンタ など

## 【発売日】

2019 年 11 月 13 日

## 【価格】

オープンプライス

## 【製品写真】



1.5kVA (2U)



3 kVA (4U)

リリースに記載されている内容はすべて、2019 年 11 月 13 日現在の実績です。

「SANUPS」は山洋電気株式会社の登録商標です。

〒170-8451 東京都豊島区南大塚 3-33-1  
 営業本部 副本部長 掛川 浩  
 マーケティング部 部長 加藤 晃  
 TEL:(03) 5927 1434 FAX:(03) 5952 1603